

報 道 資 料

令和6年4月2日

奈良県県土マネジメント部道路マネジメント課

担当：植谷

TEL (0742) 27-7499(直通)

(内線 4150)

国道169号上北山村西原地内の崩土による通行止について（第3報）

国道169号（上北山村西原地内）において、4月1日に発生した崩土について、別紙のとおり、道路防災ドクター（近畿地方整備局）の京都大学岸田 潔 教授により現地調査を実施していただきましたので、助言内容を公表します。

助言内容を踏まえ、早急に調査、対策を進めてまいります。

国道169号 上北山村西原崩土(4/1) 道路防災ドクター岸田教授 現地調査

日時: 令和6年4月2日(火) 10:30~11:40

場所: 国道169号上北山村西原 崩土現場

出席: 道路防災ドクター(近畿地方整備局) 京都大学 岸田 潔 教授
国土交通省近畿地方整備局道路部 平井 道路保全企画官
近畿道路メンテナンスセンター 青山センター長
奈良国道事務所 西田副所長
奈良県 県土マネジメント部 清水部長、安井次長
吉野土木事務所 植田所長、稲葉工務二課長、花田工務二課係長

道路防災ドクターからの助言内容:

【所感】

- 斜面上の樹木が、地山への雨水浸透を助長、樹根の割れ目への侵入、風により樹木が揺らされることにより、徐々に割れ目を広げ伸展させ、水みちの拡大になったと考えられる。結果として、岩塊の崩落につながったことの一因と推察される。
- 緩い角度の層理面に沿って植生が存在し、湿潤部が見られる。地山そのものの弱面に雨水の浸透が見られ、崩落の一因となったことも考えられる。

【今後の対応について】

- ① 崩壊部周辺の現地調査
 - 割れ目や顕著な段差地形の有無を確認
- ② 斜面観測監視体制
 - センサー等の機器により斜面の変状(すべり等の動き)を監視
- ③ 不安定岩塊(落ち残り)の除去
 - 除去後の地山岩盤の安定状況を確認
- ④ 過年度の対策工のデータ収集
 - 過年度に実施した近接斜面の対策工のデータ確認
- ⑤ ボーリング調査
 - 崩壊斜面等におけるボーリング調査
- ⑥ 周辺吹付部の調査
 - 周辺吹付部の地山風化状況等を調査
- ⑦ 各調査段階で地形図を作成
 - 上記①~⑥の各調査段階の結果を地形図等にまとめ対策を検討

【対策について】

- 応急対策
 - ①~④を実施した段階で応急対策を検討
 - この段階で地質、地形の状況把握により暫定通行の可否を判断
- 恒久対策
 - ①~④の調査結果から、⑤ボーリング調査の計画を作成し実施
 - この段階で微地形、詳細の地質の把握により恒久対策を検討